



vol. 50

2018年7月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-3号
審査体制区分4(ver.1.0)
2014.8.23~2019.8.22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

表紙《病院の風景》……………1	医療技術局 臨床工学科の紹介 ……5
コンサルテーション・リエゾン精神医学とは? ……2	第9回君津圏域公開フォーラム開催のお知らせ ……6
病気のおはなし 腰痛とリウマチ・膠原病 ……3	君津中央病院附属看護学校……………7
看護局 9階東病棟の紹介 ……4	大佐和分院よりお知らせ……………8

コンサルテーション・リエゾン精神医学とは？

2018年4月着任の精神科・下清水(したしみず)です。

コンサルテーション・リエゾン精神医学の活動を行なうため、24年間勤めた滋賀県・大津市の病院からやって参りました。(出身は鹿児島です)

コンサルテーション・リエゾン精神医学(単に、リエゾン精神医学とも言います)は、現代精神医学事典(弘文堂)によると、「身体疾患と精神疾患との関係を研究し、診療実践を行い、教育を行なう分野」となります。

私の所属する日本総合病院精神医学会の専門医は、2009年厚生労働省が認めた広告可能な名称として「一般病院連携精神医学専門医」となっております。学会としては、このわかりにくい名称を「リエゾン精神医学専門医」に改めるように厚生労働省に働きかけたものの、「リエゾン精神医学という名称が広まっておらず、一般に認識されていない」という理由で断られたいきさつがあります。(このため、学会としては、「リエゾン精神医学という用語が広まるように啓蒙活動を行って欲しい」と学会員に要請しています)

「身体疾患と精神疾患との関係」を、より具体的に言うと、入院前から罹患の精神疾患への身体疾患治療中の対応・入院後に生じた脳器質疾患関連の精神症状(器質性精神病)・身体疾患に伴って生じた精神症状(症状性精神病)・身体疾患への罹患と治療に伴う反応性の精神症状(適応障害やうつ状態など)等が、研究と診療実践の対象となります。各診療科毎に、多くの疾患や精神症状との関連がさまざまに想定されるでしょうが、医療実践上は、がん関連・せん妄・認知症患者のBPSD(行動・心理症状)・自殺企図患者等々が優先される対象です。

たった1人の精神科医で様々な分野を網羅的にカバーすることはできませんが、例えば、学会・研究会でのリエゾン精神医学関連の演目

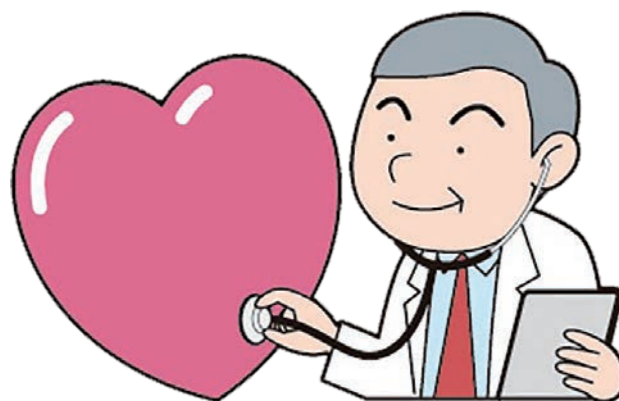
を拾い上げてみると、摂食障害・高度肥満症・発達障害・過量服薬・周産期メンタルヘルス・臓器移植・睡眠障害・てんかんといった広範囲の分野にも関わりがあります。一部の消化器疾患・心疾患・糖尿病などでは、患者の性格傾向や合併する精神疾患との関連が以前より注目されており、リエゾン精神医学は、ほとんどすべての診療科と重なる部分・協働できる部分を有しています。

また、病院によって事情が異なりますが、病院内でのチーム医療である緩和ケアチーム・精神科リエゾンチーム・認知症ケアチームなどに精神科医が関わることも多いわけです。

他、精神科を専門とするわけではない研修医や若手医師への教育活動・病院という職場でのメンタルヘルス活動といったことも懸案事項です。

リエゾン精神医学の紹介のため、大風呂敷を広げたような書き方になってしまいましたが、要請の多い分野にエネルギーを重点的に注ぎ、自分自身が疲弊することのないように注意しながら、継続的に力の限り、病院と医療全体のためにリエゾン精神科医として努力していく所存です。皆様のご協力とご指導をよろしくお願い申し上げます。

(精神科部長：下清水 博明)



病気のおはなし 腰痛とリウマチ・膠原病

総論

腰痛は一生涯を通して約85%の人が経験する非常に頻度の高い症状です。多くの腰痛はどんなに医療者が診断に努めるよう頑張っても原因の特定に至るものは15%程度であり、ほとんどの場合、腰痛の原因は不明のまま終わります。原因は不明ですが筋肉・骨・腱などの機械的な損傷ではないかと予想されています。

日常生活が制限されるほどの腰痛の持続期間が1カ月に及ぶことは20%程度、90%は6週間から3カ月以内に症状は改善しているとの報告があります。従って、大部分の腰痛は放置しても大きな問題はありませんが、一部危険な腰痛や治療を要する腰痛も存在します。

腰痛を自覚する危険・治療を要する状態とは？

特に危険とされている腰痛は日常診療での受診は1%以下とされ、脊髄圧迫・転移性腫瘍・脊髄や脊椎の感染がそれに当たります。

これらの疾患がある場合は通常、腰痛以外の症状が出現することが多いです。

例えば、脊髄圧迫では下肢の力が入りにくい、あるいは下肢の感覚異常が出現することがあり、また進行すると排便や排尿の異常が起ることがあります。腫瘍や感染では発熱などが出現することがあります。

また非常に稀ではありますが、動脈瘤や大動脈解離など、腰ではなく血管の重要な問題でも腰痛として自覚することがあります。

運動や労働後、あるいは転倒や打撲など何も思い当たる原因がないにも関わらず痛みがある場合、激しい痛みがある場合、腰痛以外の症状もある場合には病院を受診することも必要と考えます。



腰痛とリウマチ・膠原病について

リウマチ・膠原病の世界でも腰痛は医師が患者さまから耳にする訴えとしてめずらしくはありません。このような訴えの多くは、やはり一般的な腰痛と同じように何らかの機械的な損傷が多く、治療を要さないことが多いと感じますが、リウマチ・膠原病の患者さまは特に筋力が低下していることが多く、腰痛は通常より多く訴えてくる印象があります。

また、ステロイドを治療に使用する必要のある患者さまが非常に多いのですが、ステロイドの長期間の使用は骨粗鬆症の原因ともなり、腰椎の圧迫骨折を罹患する患者さまも決して少なくはありません。

最後に脊椎関節炎という疾患があります。原因は不明ですが、自分の免疫が自分の体を攻撃しているのではないかと考えられています。一般診療で腰痛が原因で受診される患者の0.5%程度とされています。緊急性はないのですが、やはり治療しなければ次第に日常生活を送ることが困難となることもあります。

脊椎関節炎では関節リウマチのように必ずしも関節の腫れが見られないため、見た目だけでは医師が診断することは困難です。また、関節リウマチや他の膠原病では診断に有用な血液検査の結果はありますが(例えば関節リウマチでは抗CCP抗体やリウマトイド因子)、この疾患には決定的な血液検査はなく、医師泣かせの疾患です。

脊椎関節炎の腰痛が機械的な損傷による痛みと決定的に異なる点は、安静時に症状が強いこと(とくにこわばり)、体動により症状が改善すること(機械的損傷では体動で改善はしない)があります。

また、この疾患は他の病気と合併することも多く、目の疾患(ぶどう膜炎)、腸の疾患(クローン病や潰瘍性大腸炎)、皮膚の疾患(乾癬)などのある患者に発症することがあります。

したがって、原因が不明の腰痛でこのような症状のある患者さまもよくわからない腰痛と諦めず、一度受診する価値はあると考えます。

(膠原病内科部長：豆原 彰)

看護局 9階東病棟の紹介

9階東病棟は、消化器内科32床・呼吸器内科4床・消化器外科8床・感染症6床対応の病棟です。検査目的の入院から点滴治療、また急性期・慢性期・終末期と幅広い患者様が入院します。患者様は壮年期から老年期の年齢層の方が多くいらっしゃいます。

感染症を有する患者様が入院となった場合には、陰圧病室を使用します。陰圧病室は、部屋の空気が室外に流れ出ないような設備となっており、空調を中央管理しています。当病棟には、感染拡大予防のための設備と役割があります。

スタッフは師長1名・係長2名・主任看護師9名・看護師24名・看護助手3名・クラーク1名が在勤しています。

今年度の病棟看護目標は、「スタッフ同士が助け合い、働きやすい職場環境の維持・改善に努める」「他職種と連携し、個別性に合わせた看護を提供する」としています。

当病棟では、スタッフ同士のコミュニケーションが良好に取れており、声をかけあって協力し合える関係があります。1つの目標に向かって互いに高め合える雰囲気があると感じています。

患者様が入院してから退院まで、またその先の日常生活についても支えていけるよう退院支援に力を入れています。チームリーダーを中心に、メディカルソーシャルワーカー(MSW)や訪問看護師・担当理学療法士など他職種を交えたカンファレンスを定期的に行ない情報交換や支援への方法を話し合っています。

その他、危険予知トレーニング(KYT)を行うとともに、5Sチーム(整理・整頓・清潔・清掃・躰)と協働し、患者様が安全に、安心して療養できる環境作りを行なっています。患者様の心に寄り添う看護を目指し、できる範囲で患者様の要望にこたえられるよう頑張っています。

(9階東病棟看護師長：泉水 祐子)

多職種によるカンファレンス



病棟スタッフ



Information

お知らせ

〈情報公開制度の実施状況の公表〉平成29年度 企業団が保有する行政文書の開示等の実施状況

開示請求	開示決定	部分開示決定	不開示決定
0件	0件	0件	0件

〈個人情報保護制度の運用状況の公表〉平成29年度 企業団が保有する個人情報の開示等の運用状況

開示請求	開示決定	部分開示決定	不開示決定
109件	109件	0件	0件

医療技術局 臨床工学科の紹介

あなたは「命をつなぐエンジニア」を知っていますか？ということで今回は医療機器のスペシャリストである臨床工学科を紹介します。現在20名の技士が働いていて医療機器の購入から廃棄に至るまで安全に使用できるよう保守点検を行っています。また臨床業務では呼吸・循環・代謝の各分野で幅広く治療にも参加しています。これら医療機器の中でも高度で専門的な人工呼吸器を用いた人工呼吸療法についてお話いたします。

人工呼吸器について

病気の発症により、体に必要なもの(酸素)と、いらなくなったもの(二酸化炭素)の入れ替えが十分にできなくなったときに、人工的に呼吸を支える医療機器が「人工呼吸器」です。使用の際に、気管の中に管(気管挿管)を入れたり、喉の一部を切開(気管切開)するため、挿入後は声を出すことが困難になったり感染症を併発するなど、患者さんは大きな負担がありました。最近では、患者さんの負担が少なく気管挿管をしない非侵襲的陽圧換気療法(NPPV)も積極的に使用されています。

NPPVとは

管のかわりに、口や鼻にマスクをあて人工呼吸を行います。NPPVは、肺炎や慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気管支喘息、心不全、睡眠時無呼吸症候群と幅広い病気に対して大変効果的な治療法です。NPPVを有効に使用するためには、患者さんの協力と医療スタッフの習熟度を上げることが最も重要なことです。当科では、NPPVが円滑に行えるようスタッフ教育にも力をいれています。

NPPVの利点

- ☑ 導入が容易で簡便です
- ☑ 会話が可能です
- ☑ 食事摂取も可能です
- ☑ 気管挿管に伴う危険性が回避できます
- ☑ 体の向きを簡単に変えられます
- ☑ 肺炎のリスクが減少します
- ☑ 状況に応じて、いつでも中断が可能です



呼吸ケアチームの発足

今年度から「院内における呼吸ケアの質の向上と標準化」を目的に呼吸ケアチームを発足いたしました。人工呼吸器装着患者さんは、肺炎を起こしやすい、寝たきりになりやすいなどのリスクがあります。これらを予防するためには、多職種による専門的な知識と技術が必要となります。呼吸機能や人工呼吸器についての知識、リハビリ、口腔ケア、栄養も大切な要素です。呼吸ケアチームは、人工呼吸に精通した医師、看護師、理学療法士、歯科衛生士、管理栄養士、そして臨床工学技士にて構成されています。呼吸ケアチームは毎週1回、病棟を巡回し人工呼吸器装着患者さんの状態を診るほか、安全な呼吸器の使用方法や、効率的で質の高い呼吸ケアが実践できるよう、主治医やスタッフにアドバイスを行っています。

(臨床工学科長 佐々木 優二)

呼吸ケアチーム



第9回君津圏域公開フォーラム開催のお知らせ

～いつまでも元気に暮らし続けよう～

毎年恒例となりました公開フォーラムを開催いたします。「いつまでも元気に暮らし続けよう」をテーマとして、健康に役立つプログラムを計画中です。みなさまお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

君津中央病院は、「君津地域リハビリテーション広域支援センター」として、地域のみなさまの健康増進をサポートいたします。

日 時：平成30年9月30日(日)12:30～16:00(受付開始12:00～)

場 所：君津中央病院

参加費：無料

申込み：不要（動きやすい服装と運動靴でお越しください）

【プログラム】

- ・講演：「老年症候群の予防と対処」
講師 大日方 研 先生（オビナタクリニック 院長）
- ・市民グループ・認知症カフェなどによる活動の発表
- ・音楽療法士と理学療法士のコラボ～楽しく動いて認知症予防～
- ・健康チェック・体験・相談（歩行年齢測定、飲み込みチェック など）



講演会



相談コーナー



ポスター発表会

※詳細につきましては、公民館などに配布予定のチラシ・当院ホームページをご参照ください

問合せ先：君津地域リハビリテーション広域支援センター

君津中央病院 リハビリテーション科内 担当 児玉 / 景山

TEL:0438-36-1071（代）

Information

がんサロンのお知らせ

がんサロンは、同じような悩みを持つがん患者さまやご家族が集まって、それぞれの体験や思いを語ることができる場所、病気や療養について情報交換ができる場所です。

新しい出会いや発見があるかもしれません。

抱えている悩みや問題を解決する糸口が見つかるかもしれません。ぜひ一度お越しください。

日 時	平成30年7月20日(金)、8月17日(金)、9月21日(金) 毎月第3週金曜日 14時30分から16時まで
場 所	2階 患者図書室 ※予約はいりません。費用無料です。
お問い合わせ先	☎0438-36-1071(代) 担当：ソーシャルワーカー 保坂 まで



君津中央病院附属看護学校

学校長就任のご挨拶



この度、平成30年4月1日付をもちまして君津中央病院附属看護学校学校長に就任いたしました。

君津中央病院附属看護学校は昭和46年(1971年)の創立以来多くの卒業生を送り出し、地域医療に貢献してまいりました。君津中央病院を中心とした実習と、平成26年に完成した新校舎、平成28年に完成した新学生寮等、設備の整った施設での学習は、充実した学生生活を送っていただけるものと考えています。

社会の高齢化が進む中で病院完結型の医療から地域包括ケアシステムに医療の形が転換しつつあります。そのため看護師の役割は医療ばかりではなく、保健、福祉、介護にも拡大しており、看護師に対する社会の高いニーズは今後も続くものと予想されます。

多くの方が看護師を目指して本校を卒業し、社会に貢献できる人材に成長していけることを、教職員一同期待しております。

君津中央病院附属看護学校
学校長 氷見 寿治

平成31年度学生募集

【推薦・一般入学試験】

①募集人員 60人(推薦・一般入試による入学者合せて)

②修学年限 3年

③推薦入試

- ・試験期日 平成30年10月20日(土) 8時30分～
- ・試験科目 数学I・A、国語(現代文)、面接
- ・願書受付 平成30年10月1日(月)～平成30年10月12日(金)必着

④一般入試

- ・試験期日
 - 【1日目】 平成31年1月12日(土) 8時20分～
 - 【2日目】 平成31年1月13日(日) 8時～
- ・試験科目
 - 【1日目】 国語(現代文)、数学I・A、英語
 - 【2日目】 面接(1日目の合格者に限り2日目を受験できます。)
- ・願書受付 平成30年12月3日(月)～平成31年1月4日(金)必着

※詳細は本校のウェブサイトをご覧ください。
※入学試験に関するお問い合わせは下記までお願いします。

Eメール kimikan@mqb.biglobe.ne.jp
電話 0438-53-8767 (事務係)
受付時間 土・日、祝日を除く9時～17時



大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院放射線係の紹介

大佐和分院放射線係では、一般撮影、X線透視装置、16列マルチスライスCT、乳房撮影、回診用撮影装置の5種類の機器を使い、2名の放射線技師で撮影しています。X線透視装置は今年の2月に更新され、デジタル化された機械になりました。乳房撮影は予約制(毎週水曜日午後)で君津中央病院の認定女性技師が担当しており、安心して検査を受けていただけたと思います。当院を受診される患者様は御高齢の方が多く、撮影時に固い撮影台の上に仰向けに寝かされるなど苦痛を伴う事があるかと思いますが、そこはベテラン技師二人、豊富な経験を生かし出来るかぎり無理のない体勢で短時間で撮影が終了し、より診断しやすい画像を医師



昨年度更新した
X線透視装置とともに

に提供するように努力しています。時には、撮影後に患者様と農業や釣り、草花などの話をする事も多々あり、そのような会話も親しみ易い働き甲斐のある職場の大きな要因であると考えています。

また、病院から一歩外に出ると潮の香が漂う所で、周囲の防風林の中から春先にはウグイスやメジロ、初夏は、ホトトギスのさえずりも聞こえ、朝、帰り忘れたカブトムシが駐車場の外灯にしがみついていることもあり、とても自然に恵まれた環境にあります。



そんな雰囲気には負けないよう慌てる事無く撮影を行い、患者様にはゆったりと、気分良く撮影室を後にして頂けたらと思っています。

最後に、地域住民の皆様安心して親しまれる大佐和分院放射線係をめざします。

(大佐和分院放射線係 國見 泰則)

外来診療日の一覧

平成30年7月1日改正

国保直営君津中央病院大佐和分院
〒293-0036 富津市千種新田710番地 TEL:0439-65-1251

診療科		受付時間等		診察室	月	火	水	木	金
					医師	医師	医師	医師	医師
内科・小児科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	1	寺林			寺林	寺林
				2	田中	田中	三浦	田中	田中
				3		北湯口	北湯口	北湯口	北湯口
				5	安達		安達	【毎月最終木曜日】 桐谷	安達
糖尿病・内分泌・代謝内科 (予約のみ)	午前	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる	内科・糖 内代謝 外来					【予約のみ】 武田
神経内科 (予約のみ)	午前	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる	1		【予約のみ】 藤沼			
外科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	2			三浦		
整形外科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	5		【予約患者有】 保住			
皮膚科	午後	受付時間 診療時間	12:00~15:00 14:00~	5					【予約患者有】 田頭
泌尿器科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	泌尿器科 外来		【予約のみ】 荒木		【予約のみ】 片海	
	午後	受付時間 診療時間	12:00~15:00 13:30~					【予約のみ】 片海	
眼科	午前	受付時間 診療時間	8:00~11:30 9:00~	眼科 外来	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木	佐々木
	午後	受付時間 診療時間	12:00~15:00 13:30~		佐々木		佐々木	佐々木	
循環器内科 (超音波検査) (予約のみ)	午後	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる	エコー 室	【予約のみ】 山本・関根・芳生 外池・鹿田 【医師交代制】				
人間ドック (予約のみ)	午前	受付時間 診療時間	予約時間に 準ずる				【予約のみ】 田中		【予約のみ】 山倉